

1	所 属	内科学(消化器)
2	氏 名	入澤篤志
3	タイトル	消化器内視鏡指導におけるアノテーションシステムの活用
4	概 要	当科では、2018年10月から消化器内視鏡を施行する際のモニター画面に、直接文字や絵が描けるアノテーションシステムを用いた内視鏡指導を開始した。このシステムは、検査中の内視鏡画像が専用ディスプレイとiPad双方に同時に映し出され、指導者が専用ディスプレイやiPadにタッチペンで絵や文字を書き込むと、それが術者が見るディスプレイ上にもリアルタイムに描かれるものである。一般的な内視鏡術中指導は、指差しにより行われるが、本システムでは内視鏡画像を「図」として理解させることができるため、画像理解や内視鏡手技は格段に向上する。また、このシステムは双方向のやり取りもできるため、術者が内視鏡画面に描画することで、画像を用いた質疑応答形式の教育も可能となり、術者・指導者間の意思疎通がより高まる。本システムは、学生・研修医教育も含めた幅広い教育に大きく役立つシステムである。このシステムを導入している施設は全国でも少なく、栃木県内では獨協医科大学だけである(隣県で言えば、茨城県で1施設、福島県で2施設、群馬県はなし)。内視鏡教育といった観点からは、大変魅力あるツールであると考えている。